

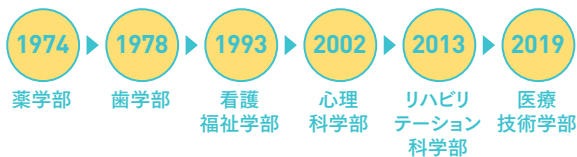
1974

北海道の医療のために、 発展してきた半世紀。



本学は1974年に創立されました。当時の北海道は私立の医療系総合大学がなく、医療過疎が深刻でした。中でも不足していたのが薬剤師。そんな背景から、太平洋を望む音別町(現・釧路市)に、東日本学園大学(本学の前身)薬学部が誕生しました。その後時代のニーズに応えるために新学部の開設など発展を続け、現在は6学部9学科と歯学部附属歯科衛生士専門学校を擁する医療系総合大学に。北海道の医療のために進化してきた歴史があります。

《現在の6学部と開設年》



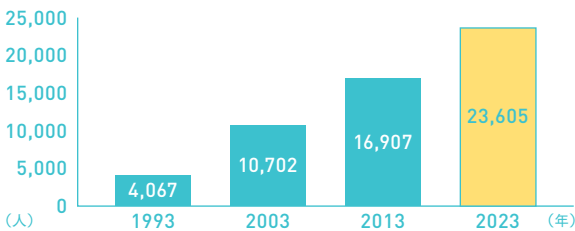
23,605

患者さんやチームメイトからの 高い評価が「医療大ブランド」。



これまでに輩出してきた卒業生の数は、23,605人。北海道内を中心に全国各地で活躍しており、強固な卒業生ネットワークがあります。各施設の代表・役員・管理職クラスや、薬局、歯科医院、福祉サービスの事業所などを開業した人も多数。卒業生の行動力やコミュニケーション力が、本学の高い評価につながっています。

《累計卒業生数の推移》



Health Sciences University of Hokkaido 50th Anniversary

創立50周年記念特別企画 第1弾

数字で見る 医療大



2024年10月10日、北海道医療大学は創立50周年を迎えます。そこで広報誌ADVANCEでは、今号から3号にわたって、創立50周年記念特別企画を掲載予定です。第1弾は「数字で見る医療大」。数字やデータを通して、本学の特色や規模感、ちょっとマニアックな情報までをお伝えします。

225,672

学生も専門職も、 地域の方々も利用。



当別キャンパスには総合図書館、札幌あいの里キャンパスには総合図書館分館があり、蔵書数は225,672冊。専門書から小説・マンガまで多彩な図書に加えて、10,847種の学術雑誌や電子ジャーナル、国家試験問題集なども取り揃えています。学生はもちろん、医療や福祉の専門職、地域の方々も利用している大規模な図書館です。

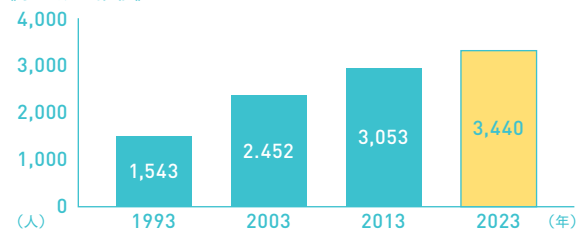
3,440

学部学科の枠を越えて、 チーム医療を学んでいます。



当別キャンパスと札幌あいの里キャンパスで学んでいる学生は、3,440人。チーム医療・多職種連携を学ぶ独自科目からクラブ・サークル活動まで、学部学科の枠を越えた交流が盛んです。卒業後の勤務先で、同じ医療大の卒業生に出会えることも多いはず。また、学生時代のつながりは、勤務先や職種が違ってても続くことでしょう。

《学生数の推移》



12

すべての学部学科で、 国家資格取得をめざせます。

6学部9学科と歯科衛生士専門学校でめざせる国家資格の数は、合計12。さらに、卒業後のキャリアが有利になる民間資格、付与資格、任用資格なども数多くあります。そのため、卒業後はさまざまな進路を選択可能。また、大学院に進学し、高度資格の取得もめざす道もあります。

《めざせる主な資格等》

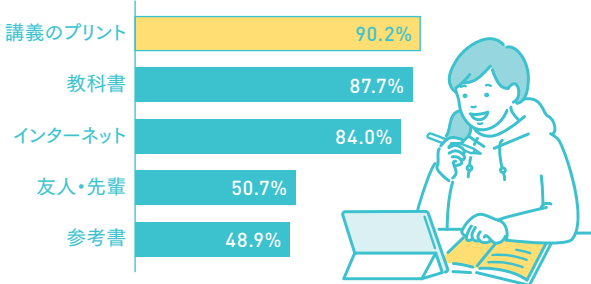
- 薬学部: 薬剤師(国家資格)
- 歯学部: 歯科医師(国家資格)
- 看護学部: 看護師(国家資格)
- 福祉マネジメント学科: 社会福祉士(国家資格)、精神保健福祉士(国家資格)、介護福祉士(国家資格)、スクールソーシャルワーカー、初級パラスポーツ指導員、高等学校教諭一種免許状(公民/福祉)、特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)、社会福祉主事、児童指導員、身体障害者福祉司
- 臨床心理学科: 公認心理師(国家資格、要大学院進学等)、産業カウンセラー、認定心理士、児童心理師
- 理学療法学科: 理学療法士(国家資格)
- 作業療法学科: 作業療法士(国家資格)、音楽療法士
- 言語聴覚療法学科: 言語聴覚士(国家資格)
- 臨床検査学科: 臨床検査技師(国家資格)、健康食品管理士、食品衛生管理者、食品衛生監視員
- 歯科衛生士専門学校: 歯科衛生士(国家資格)



90.2 先生の用意したプリントが、やっぱりいちばん。

勉強のときに活用している情報源として、90.2%の学生が、教員の用意した「講義のプリント」と回答しました。これは、毎年実施している「学生生活アンケート」の集計結果(令和4年度)によるものです。本学の教員は、一人ひとりの学生に対して、日頃から親身になって手厚いサポートを行っています。アンケートの結果は、学生が教員のことを信頼している証、といえるかもしれません。

《勉強の際の調べ物の情報源》複数回答可



43 勉強だけの学生生活は、もったいない。

活動中のクラブ・サークルの数は、体育局と文化局を合わせて43。学外での実習や国家試験に向けた勉強など、医療系の学生は忙しいイメージですが、本学では勉強と課外活動を両立している学生が数多くいます。



46.4

医療人になりたい、
という思いに応えたい。



奨学金制度を利用している学生は、46.4%と約半数。日本学生支援機構奨学金はもちろん、「特待奨学生」、「学校法人東日本学園一般奨学生」など本学独自の支援制度も数多くあります。

1,637



多彩な経験を積めるのは、
施設との信頼関係があるから。

学外で行われる臨床・臨地実習では、のべ1,637もの施設が学びの場となっています。札幌市内の病院や地方の中核病院、地域包括支援センターや訪問看護ステーション、社会福祉施設など多彩な現場で経験を積めるのは、医療系総合大学ならではの。医療人としての幅広い視点と高いコミュニケーションを身につけ、卒業後のキャリアについてイメージを広げてほしいと願っています。

《各学科の実習協力施設数》

●薬学科.....151	●理学療法学科.....412
●歯学科.....27	●作業療法学科.....296
●看護学科.....145	●言語聴覚療法学科.....213
●福祉マネジメント学科.....333	●臨床検査学科.....35
●臨床心理学科.....25	

大学院心理科学研究科の実習施設を含む

325,985

医療系総合大学だから、
圧倒的なスケール感。



当別キャンパスと札幌あいの里キャンパスを中心に、本学の校地面積は合計325,985㎡。これは、道内の医療系総合大学としては最大級の規模です。各学部棟には、高度な設備が導入された実習室や講義室を完備。さらに、大学病院、歯科クリニック、地域包括ケアセンターなどチーム医療を実践する附属施設から、広大なグラウンド、テニスコートまで、学生が充実したキャンパスライフを送れる環境を追求しています。

- 当別キャンパス..... 296,253㎡
- 札幌あいの里キャンパス..... 28,576㎡
- 茨戸教育研修センター..... 1,155㎡

350 私たちはみんな、医療大というチームの仲間。



1977年。当時は薬学部のみで、学びの舞台は音別と当別にありました。その夏、当別キャンパスで開催される第1回の大学祭に合わせて、翌春に卒業を控えた薬学部1期生17人が「音別・当別マラソン」を企画。音別から列車や車を使わずに歩き、大学祭最終日までに当別をめざすというものです。その距離なんと、350km。企画の狙いは、自分たちのチャレンジを新聞に

取り上げてもらい大学の宣伝になること、そして、音別と当別をつなぎ、離れていても同じ大学で学ぶ仲間だと伝えること。1期生たちは10日かけて350kmを歩き切り、大学祭の最終日、当別の仲間を迎えられました。狙いどおり、新聞記事になり多大な宣伝効果を発揮。「同じ大学の仲間」というチームワークは、これからも本学のアイデンティティとして受け継がれていくことでしょう。

